

【記入例】造林方法が人工造林の場合

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

平成 30 年 5 月 31 日

岐阜市長 様

伐採した森林が所在する市町村に提出

法人の場合は法人登記印、個人の場合は認印(ただし、個人で自書の場合は押印省略可)

住所 ○○市△△町3-2-1

報告者 森林 花子 印

提出日は造林期間の末日から30日以内

平成 29 年 10 月 1 日に提出した伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林の状況報告書を作成し、提出する。

- ・造林(伐採)箇所ごとに報告書を作成
- ・複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載

1 森林の所在場所

岐阜市 大字	字	地番
--------	---	----

全ての地番の合計面積を記載
小数点以下2位まで記載(3位以下四捨五入)

2 伐採の実施状況

伐採面積	2.00 ha		
伐採方法	皆伐 ・ 択伐	伐採率	100 %
伐採樹種	すぎ		
伐採の期間	平成 29 年 12 月 15 日～平成 30 年 2 月 15 日		

届出書の「伐採の計画」に従ったものとする

立木材積による伐採率

3 伐採後の造林の実施状況

届出書に記載した期間に収める

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数
人工造林	植栽	平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 5 月 18 日	すぎ	1.00 ha	3,000 本
			ひのき	1.00 ha	3,000 本
天然更新				ha	本

・複数の樹種を造林した場合は、樹種ごとに記載
・次ページの記載方法による記載又は資料の添付を行う

4 備考

平成 30 年 3 月 1 日に森林一郎から相続(共有者:森林二郎ほか2名)

注意事項

- 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 氏名を自署する場合、氏名を自署すること。
- 森林の所在場所ごとに報告書を作成すること。
- 面積は、小数第2位まで記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくるまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

相続等により届出書とは異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報を記載する。

樹種別の造林本数欄の記載方法について

- ・原則として、都道府県毎の天然更新完了基準に定められた更新調査（標準地調査）の結果を元に造林本数欄に更新本数を記載する。
- ・ただし、調査せずとも天然更新完了基準を明らかに満たしていると判断できる場合（例えば、小面積の伐採等）には、造林地の写真その他更新状況のわかる資料*を添付することにより、「別添のとおり」と記載することができる。

※更新樹種の稚樹の生存、生長を阻害するササ、低木、シダ類、キイチゴ類、高茎草本等の競合植物の草丈を超える更新樹種の稚樹が多数成立するなど、明らかに更新基準を満たしている場合には、写真や目視によるチェックリストなど更新状況のわかる資料を添付

(資料の例)

- ・写真の場合：造林地の全体の遠景写真、更新樹種の生育状況（高さや成立本数）がわかる近景写真（代表的な更新樹種がわかる近接写真を含む）
- ・チェックリストの場合：以下のチェック項目を目視により確認
 - 更新樹種の稚樹の樹高が周囲の競合植物の草丈を上回っている
 - 更新樹種の稚樹の本数が半径○mの円内に○本以上生育している
 - 伐採跡地が全体的に更新されている